

図書館運営事業

教育部国分図書館

事業費：40,000 千円

事業の概要

新型コロナウイルス感染症対策としての新しい生活様式が求められている中、オンラインで図書館の蔵書情報を検索・予約できるようにし、貸出ロッカーによる予約本の受取等人との接触機会を減らして本を借りることができる新たな機器やシステムを導入し、利用者の感染リスクの軽減に取り組む。更に今後のGIGAスクール構想に対応し、モノとインターネットが繋がるIoTの仕組みについてICタグを通じて学び、Society5.0を体感できる貸し出しを行うなど、利用者の利便性の向上につながる様々な取組に結びつける。

事業内容・事業費内訳等

国分図書館の開架書庫にある本にICタグを導入することで、接触機会を減らすセルフ貸出・返却が可能となり、インターネット予約も円滑に行えるようになる。加えて、貸出ロッカーを導入することで、入館せずに本を受け取れるようにする等、利便性向上につながる新たなサービス提供に努める。

ICタグ及び関連機器導入委託料
：40,000千円

インターネット予約の推進

セルフ貸出・返却

館外での本の受取

蔵書点検の省力化

盗難防止対策

ICタグ
貸出ロッカー
の導入

機器導入による業務改善により、非常時にも対応できる新たな事業や業務への取組を推進

GIGAスクール構想への対応

事務の効率化

移動図書館車の有効利用

郵送による貸出

管内整備の充実

各図書室との連携強化